



平成30年3月期 第2四半期

決算説明会



- CONNECTING THE FUTURE -

平成29年11月2日

ヒロセ電機株式会社〔6806〕

■ 注意事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。

H29年度 第2四半期
累計（4月～9月）

受注高 **675.7** 億円
（対前年同期比 +15.6%）
売上高 **619.8** 億円
（対前年同期比 +8.4%、 対公表値比 +3.3%）
経常利益 **157.7** 億円 ※利益率**25.4%**
（対前年同期比 +9.8%、 対公表値比 +8.0%）

スマートフォン

スマートフォン向け売上は、第2四半期（7～9月）に第1四半期比 +29%と大きく伸ばしたが、春場の中国市場向け立ち上がり遅れの影響もあり、第2四半期累計（4月～9月）の対前年比は横ばいとなった。

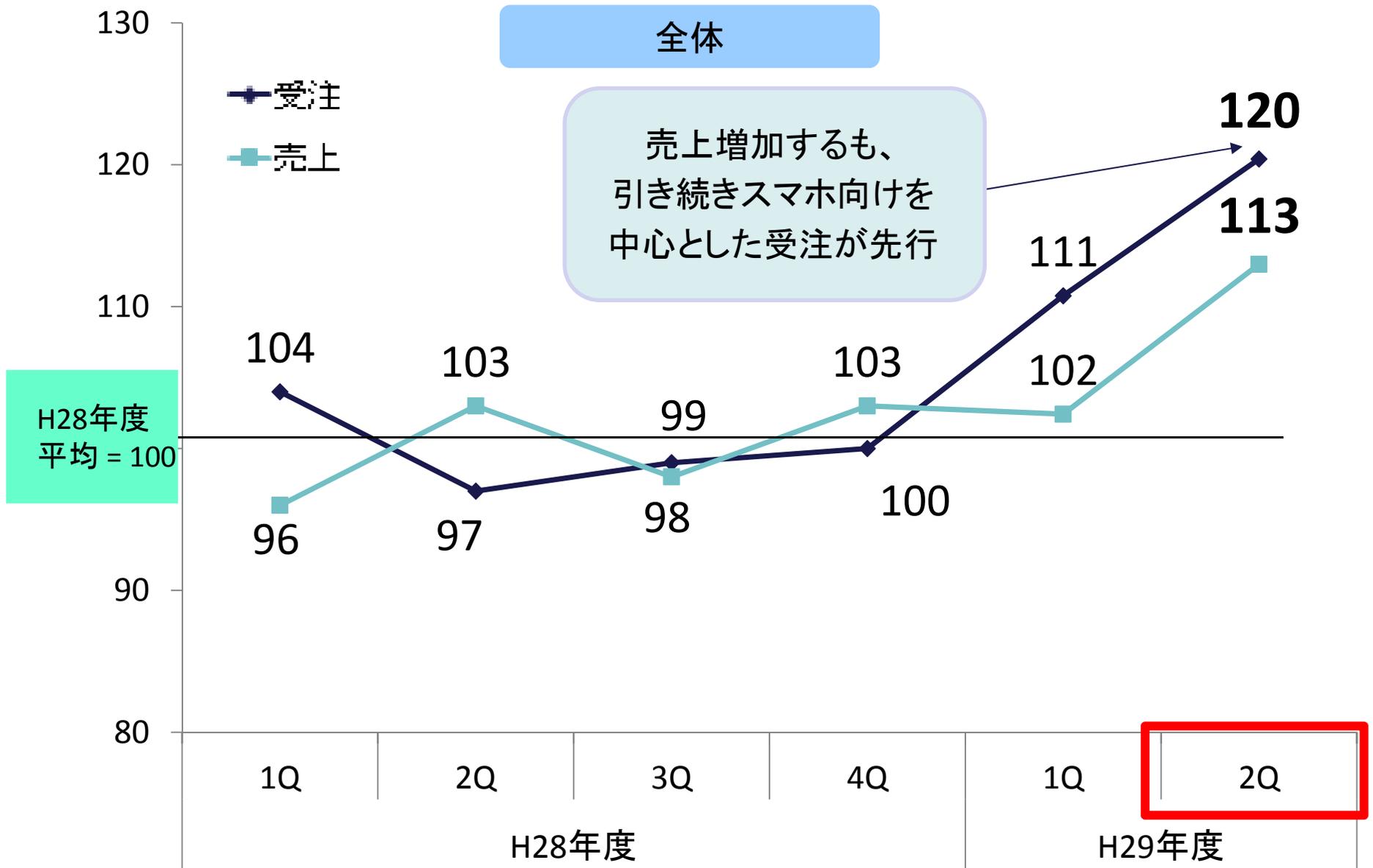
一般産機

産機市場向け売上は、FA関連向けや代理店経由など、全般的に好調で、第2四半期も第1四半期の高水準を維持した。

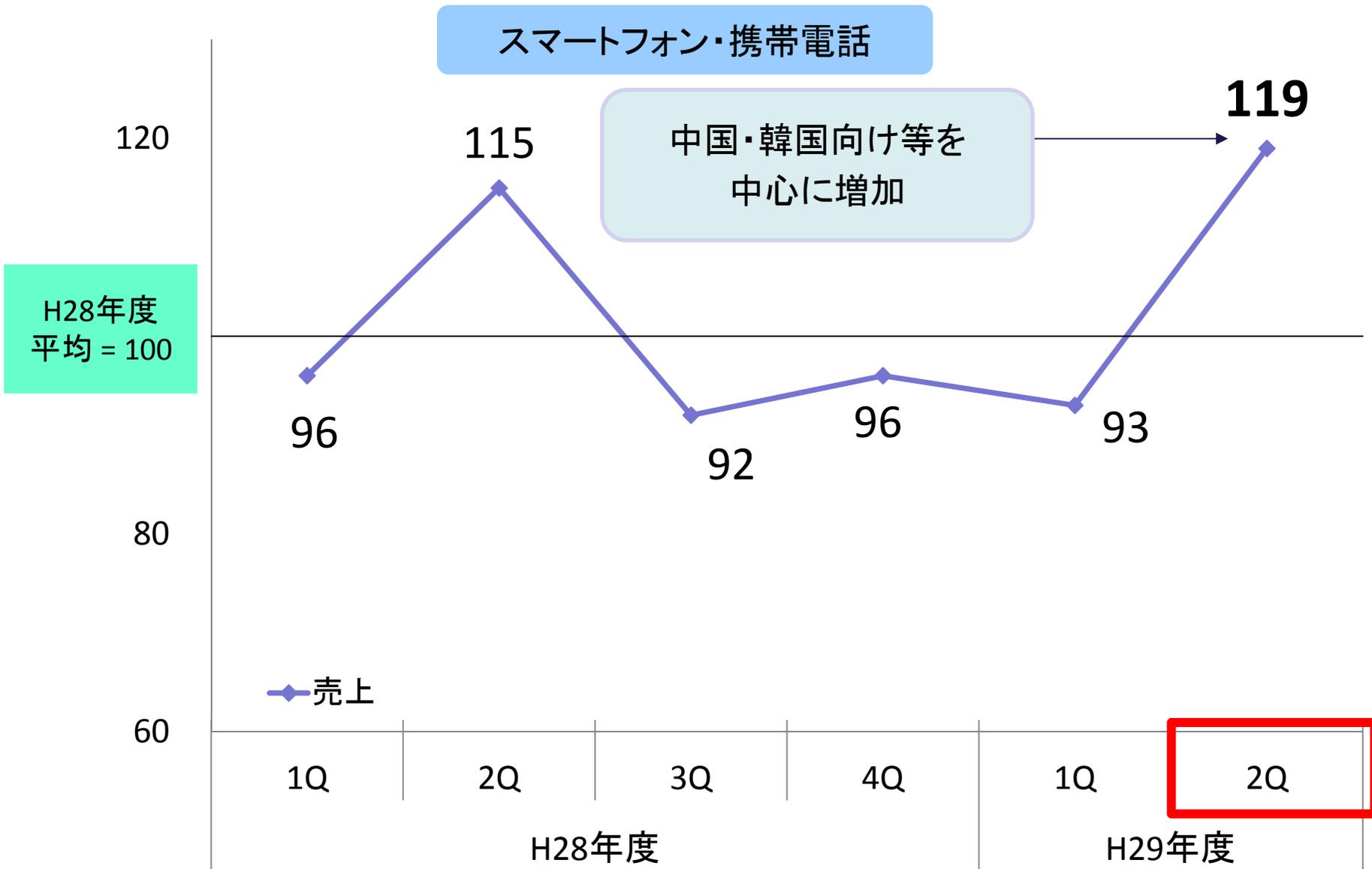
自動車

自動車向け売上は、第2四半期は第1四半期比 +5%と堅調に推移した。

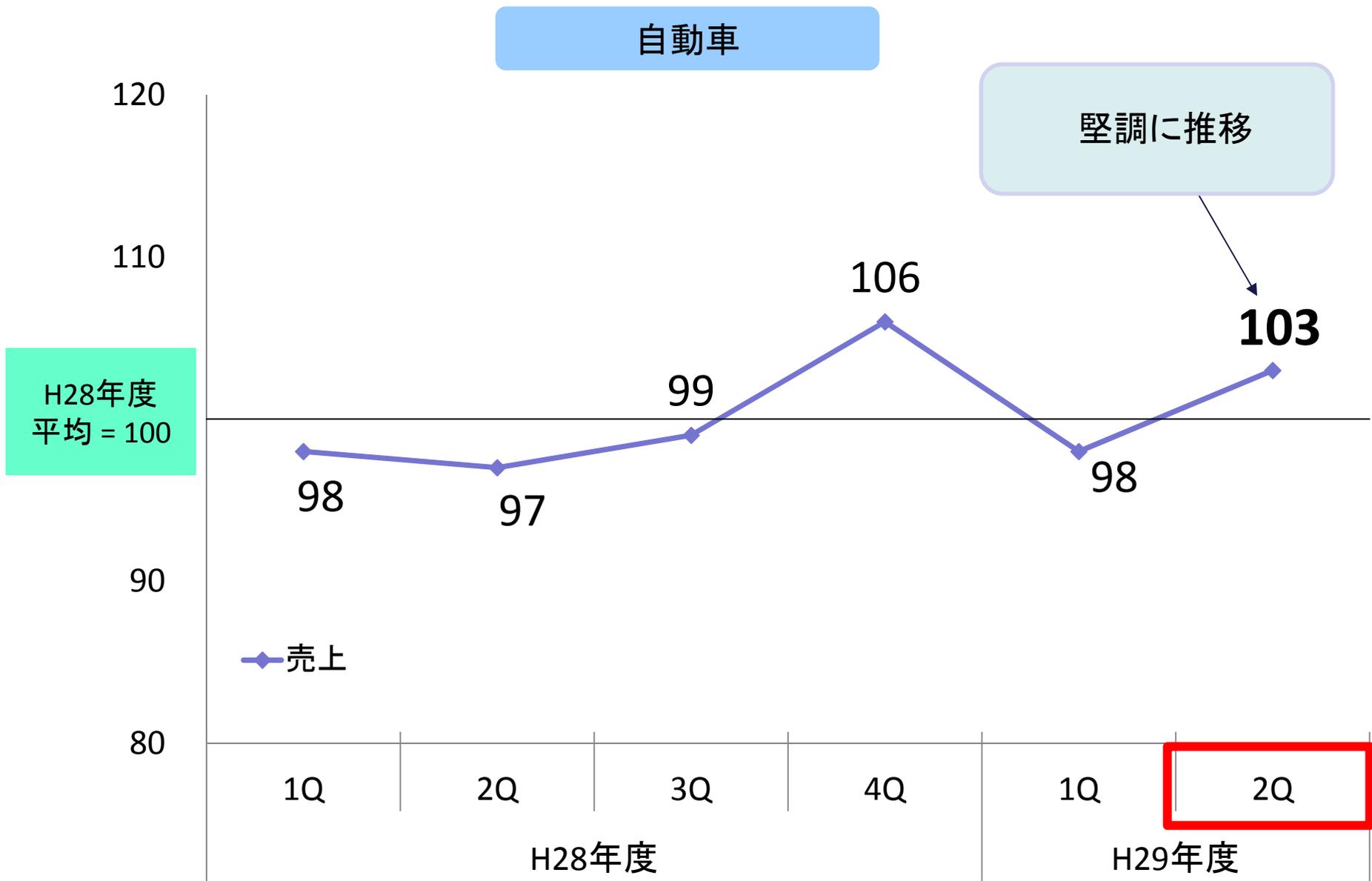
H28年度1Q～H29年度2Q 受注・売上推移(ヒロセ連結ベース、指数表示)



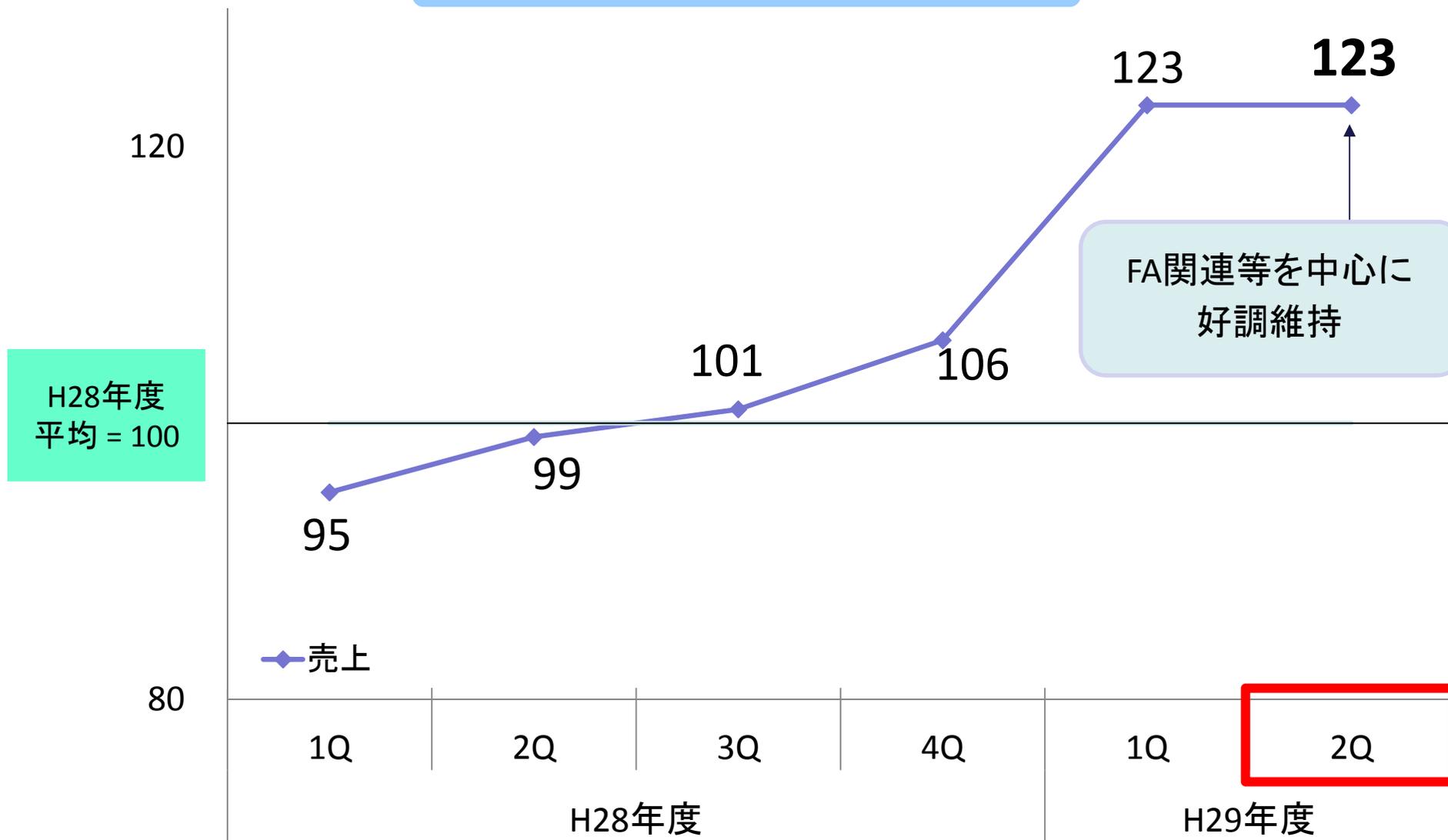
H28年度1Q～H29年度2Q 用途別売上推移(ヒロセ連結ベース、指数表示)



H28年度1Q～H29年度2Q 用途別売上推移(ヒロセ連結ベース、指数表示)



一般産機（電子応用、FA制御、その他）



H29年度 第2四半期 累計 連結決算概要

(金額単位: 億円)

	H28年度 第2四半期 累計	H29年度 第2四半期公表値	H29年度 第2四半期 累計	増減額 (対前年比)	増減比 (対前年比)
売上高	571.8	600.0	619.8	48.0	8.4%
売上原価率	53.4%	—	52.5%	-0.9%	
販売・管理費比率	21.6%	—	23.1%	+1.5%	
営業利益	142.9	142.0	151.4	8.5	6.0%
(%)	25.0%	—	24.4%	-0.6%	
経常利益	143.6	146.0	157.7	14.1	9.8%
(%)	25.1%	—	25.4%	+0.3%	
当期利益	101.3	102.0	109.2	7.9	7.8%
(%)	17.7%	—	17.6%	-0.1%	
総資産残高	3,162.9		3,385.8	223.0	7.0%
自己資本比率	90.0%		89.8%		
一株当り当期利益	289.69円		313.66円		

■ 売上高

48.0 億円 増

ヒロセ単体 : + 51.0 億円

子会社 : - 3.0 億円

■ 売上原価率

0.9 ポイント良化

仕入原価費率 : 39.3% → 37.6%

減価償却費率 : 4.4% → 5.3%

■ 販売・管理費比率

1.5 ポイント悪化

人件費・減価償却費等増の為

■ 営業外損益

5.5 億円 改善

為替差損益 : -5.8 億円 → -0.3 億円

H29年度 第2四半期 累計 為替影響

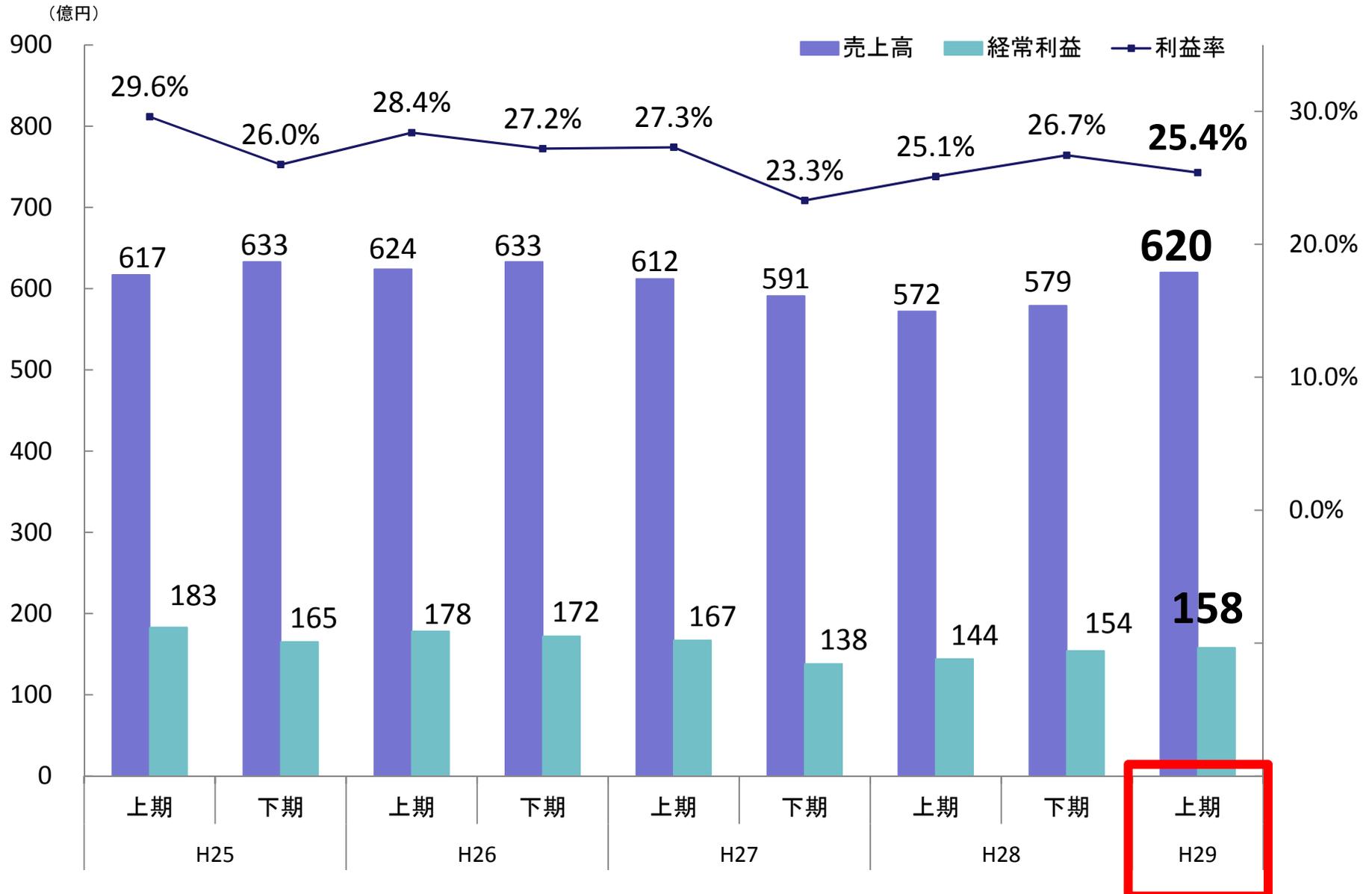
	H28年度 第2四半期 累計	H29年度 第2四半期 累計
為替レート:US\$	105.29円	111.06円
為替レート:€	118.15円	126.29円
為替レート:100ウォン	9.23円	9.84円



(単位:億円)

対前年同期為替影響額	
売上高	+25.5
営業利益	+11.2
経常利益	+16.8

半期別 売上高・利益 実績推移



連結貸借対照表主要増減

(億円)

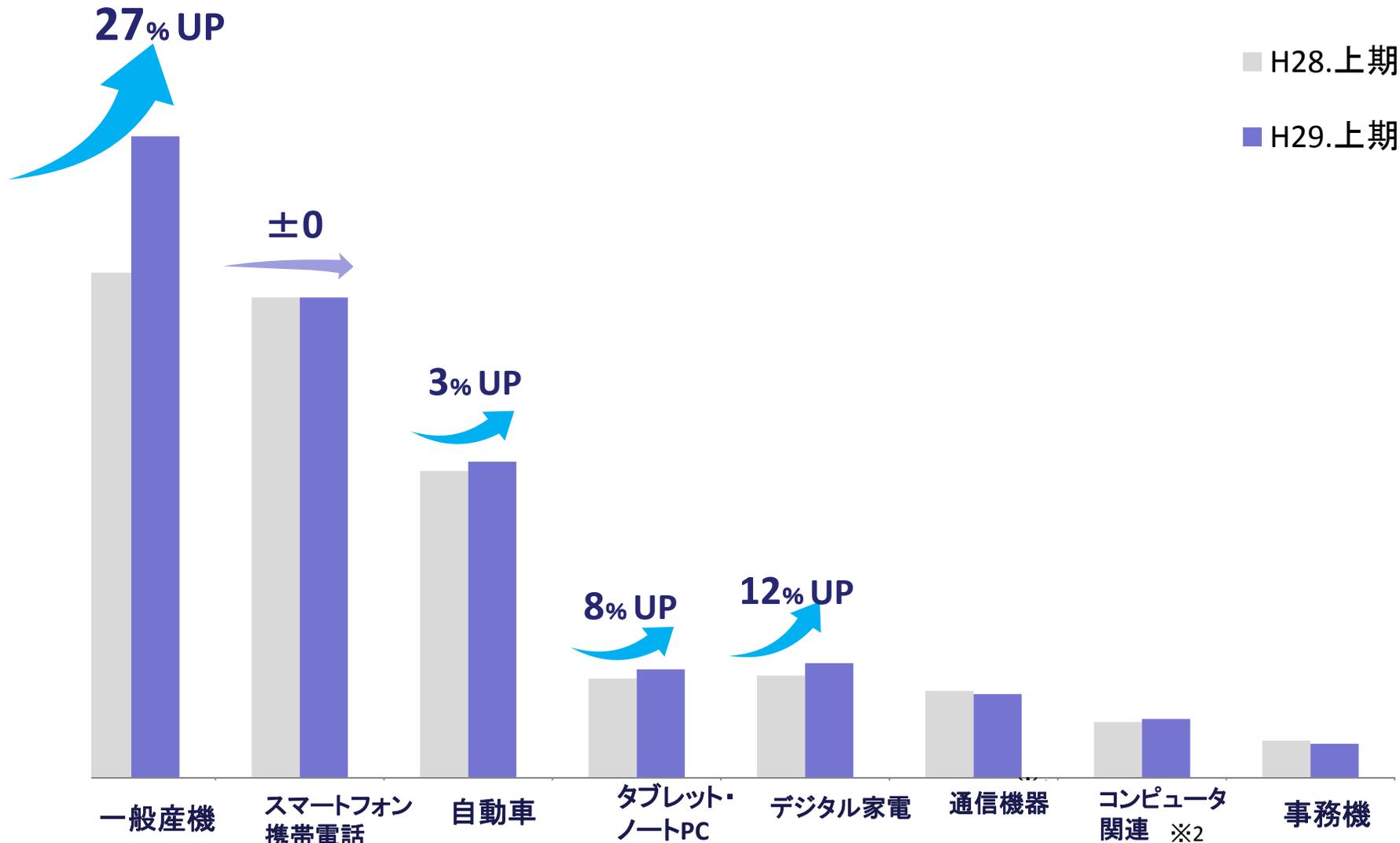
区分	科目	H29/3末	H29/9末	増減額	備考
資	現金及び預金	1,852.5	1,929.0	76.5	国債償還等に伴う増
	受取手形及び 売掛金	284.9	313.1	28.2	売上増による増加
	有価証券	218.9	142.6	-76.3	国債償還等に伴う減
	棚卸資産	88.9	107.4	18.5	商品増(第3四半期売上へ)
産	固定資産	455.9	497.8	41.9	機械装置・金型等増
	投資有価証券	264.5	302.6	38.1	社債等増
	その他	101.4	93.3	-8.1	未収入金減(消費税還付)等
	合計	3,267.0	3,385.8	118.8	

連結貸借対照表主要増減

(億円)

区分	科目	H29/3末	H29/9末	増減額	備考
負 債	支払手形及び買掛金	113.9	133.9	20.0	国内工場増
	未払法人税	37.6	42.6	5.0	
	その他	152.5	166.6	14.1	未払金増
		304.0	343.1	39.1	
純 資 産	利益剰余金	3,214.9	3,282.3	67.4	当期純利益 109.2 億円 －配当 41.8 億円
	自己株式	- 589.0	- 587.3	1.7	
	その他有価証券 評価差額金	73.7	76.0	2.3	
	為替換算調整勘定	53.1	61.5	8.4	
	その他	210.3	210.2	-0.1	
	合計	2,963.0	3,042.7	79.7	
	負債及び純資産合計	3,267.0	3,385.8	118.8	

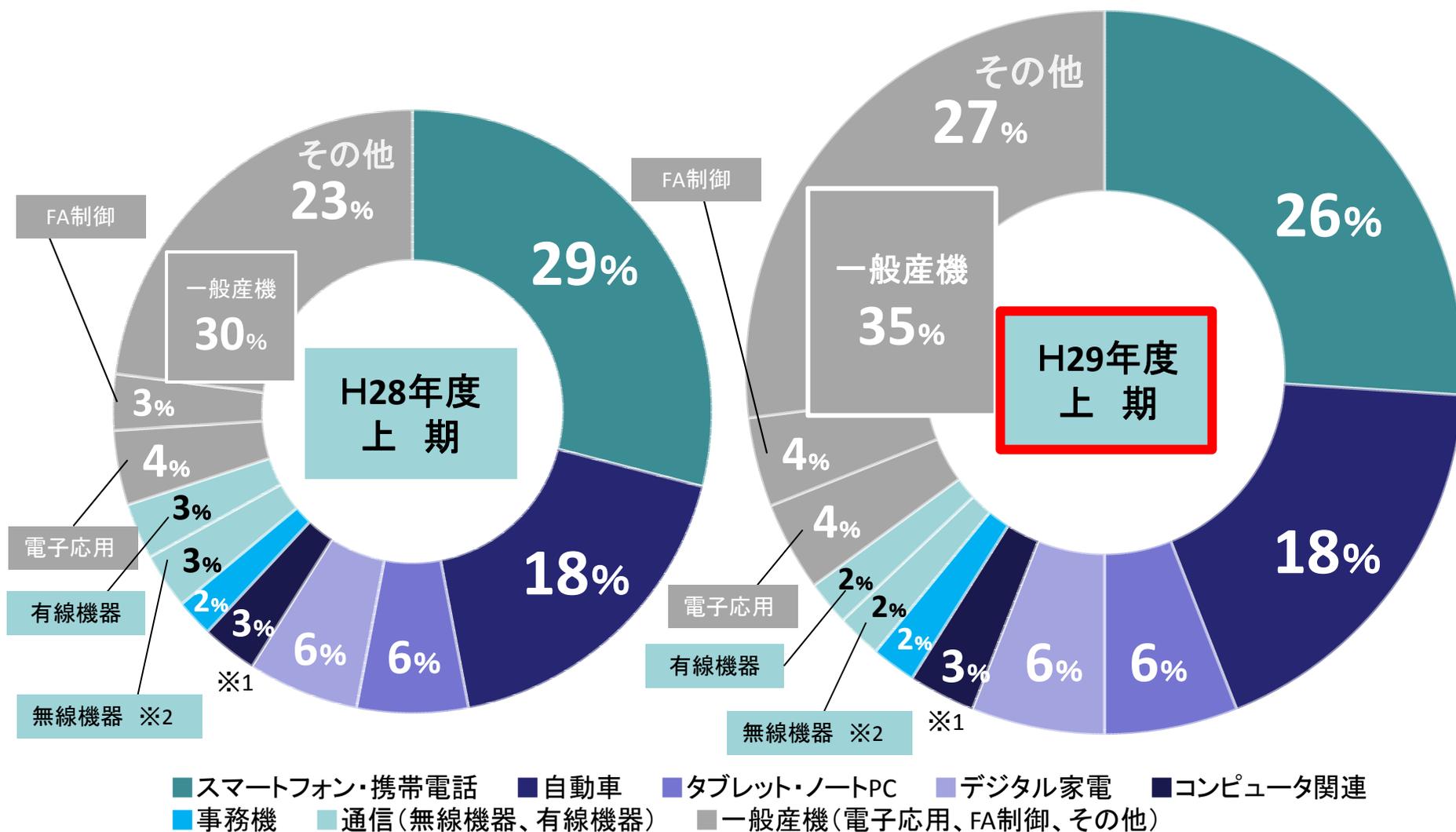
コネクタ用途別売上 前年比較(概数) 【連結ベース】



用途別構成比は概数により実際との誤差の可能性があることをご承知願います。

※1通信機器・・・スマートフォン・携帯電話を除く通信機器
 ※2コンピュータ関連・・・タブレット・ノートPCを除くコンピュータ関連機器

コネクタ用途別売上構成比(概数)【連結ベース】

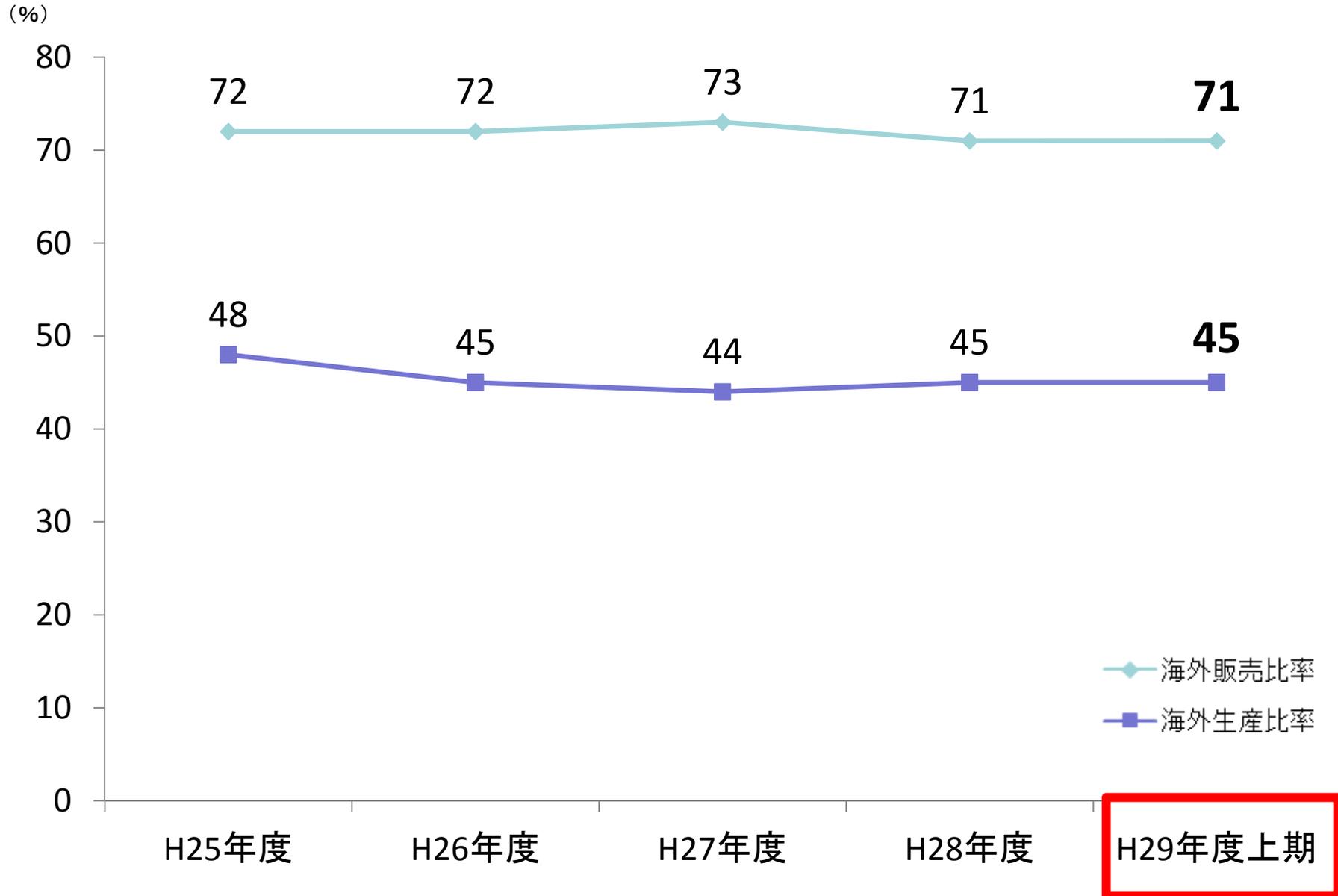


■ スマートフォン・携帯電話
 ■ 自動車
 ■ タブレット・ノートPC
 ■ デジタル家電
 ■ コンピュータ関連
■ 事務機
 ■ 通信(無線機器、有線機器)
 ■ 一般産機(電子応用、FA制御、その他)

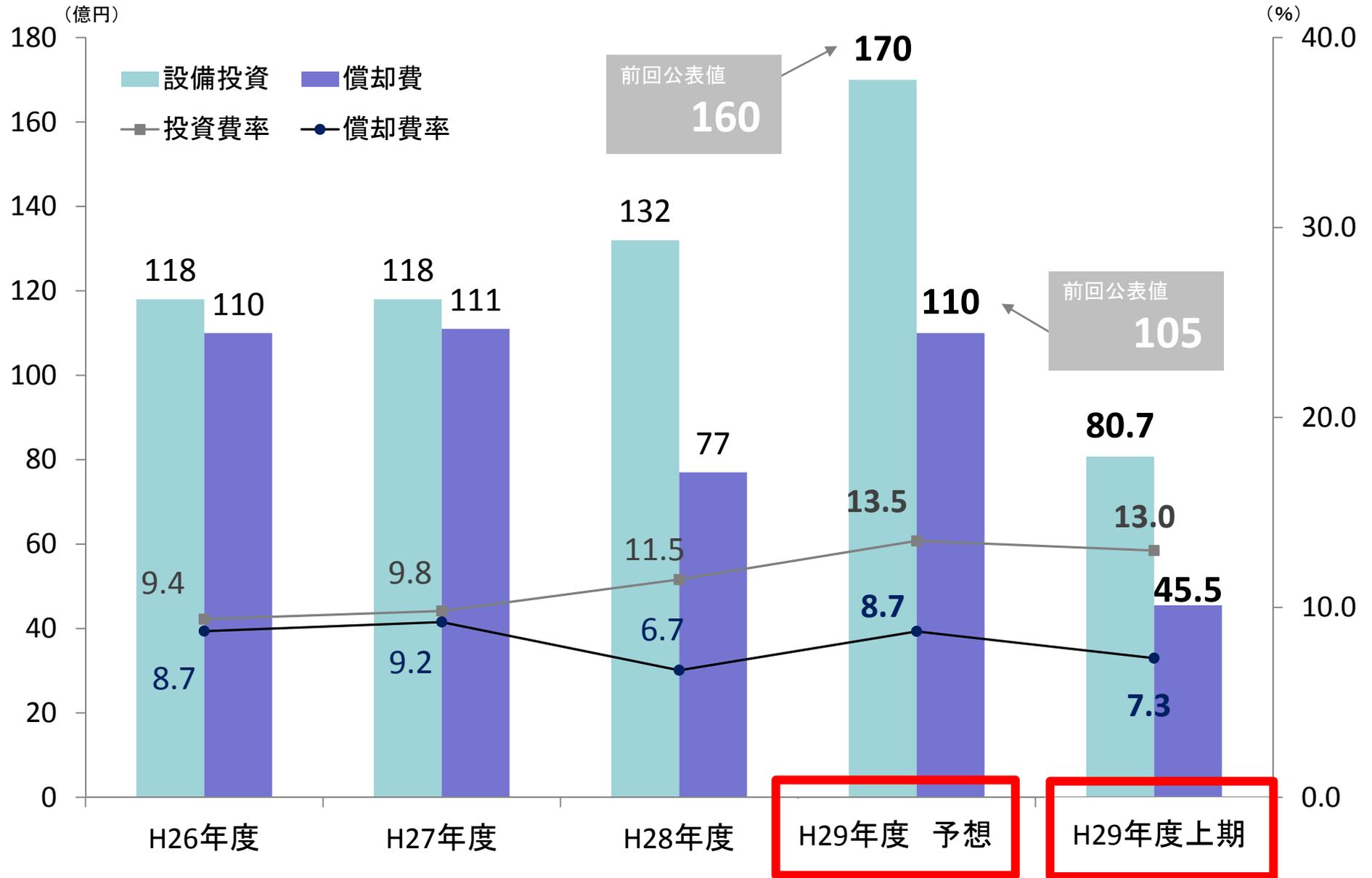
用途別構成比は概数により実際との誤差の可能性をご承知願います。

※1 コンピュータ関連・・・タブレット・ノートPCを除くコンピュータ関連機器
 ※2 無線機器・・・スマートフォン・携帯電話を除く無線通信機器

海外生産比率・海外販売比率 推移

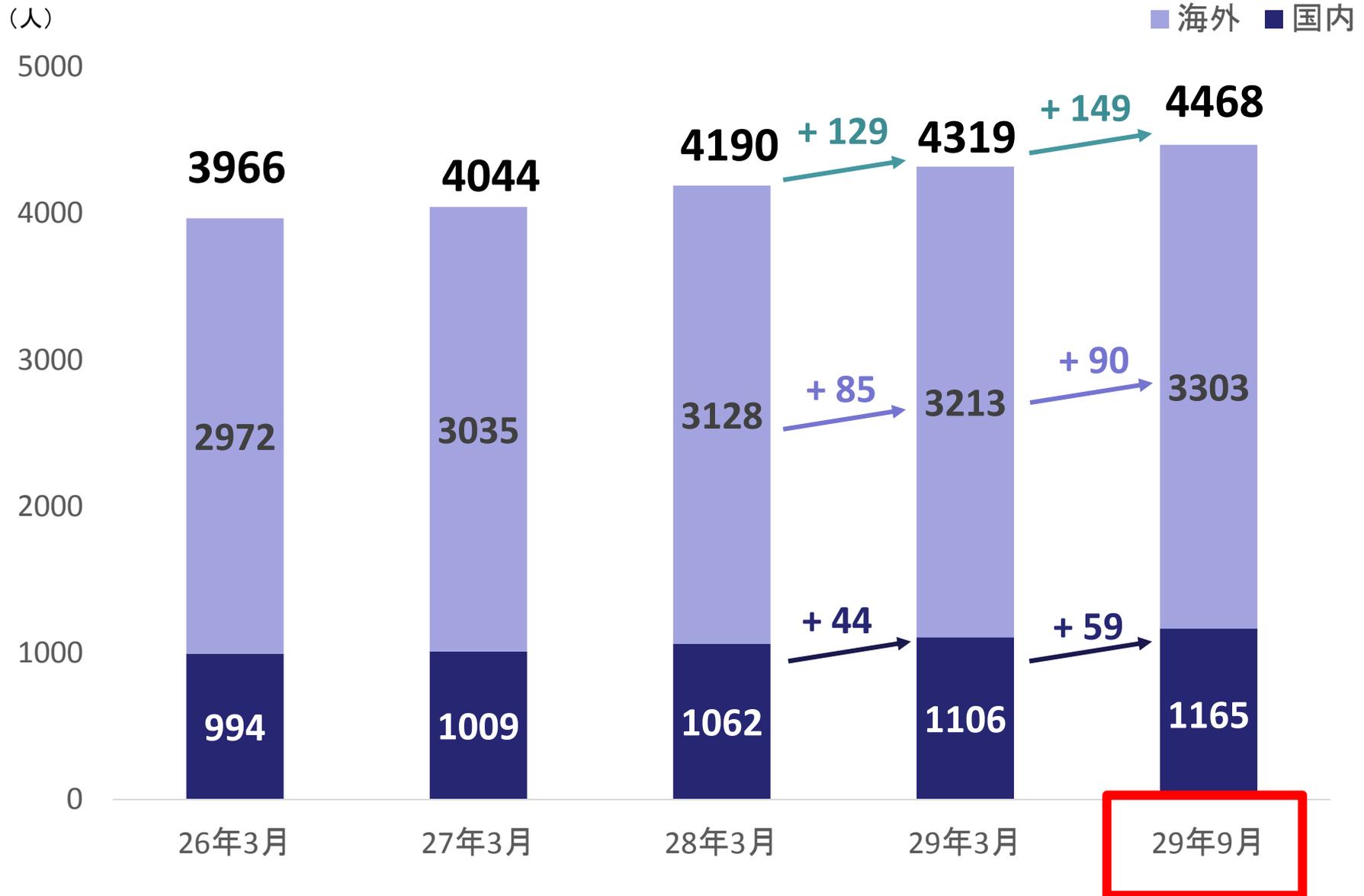


設備投資・償却費 推移(連結ベース)

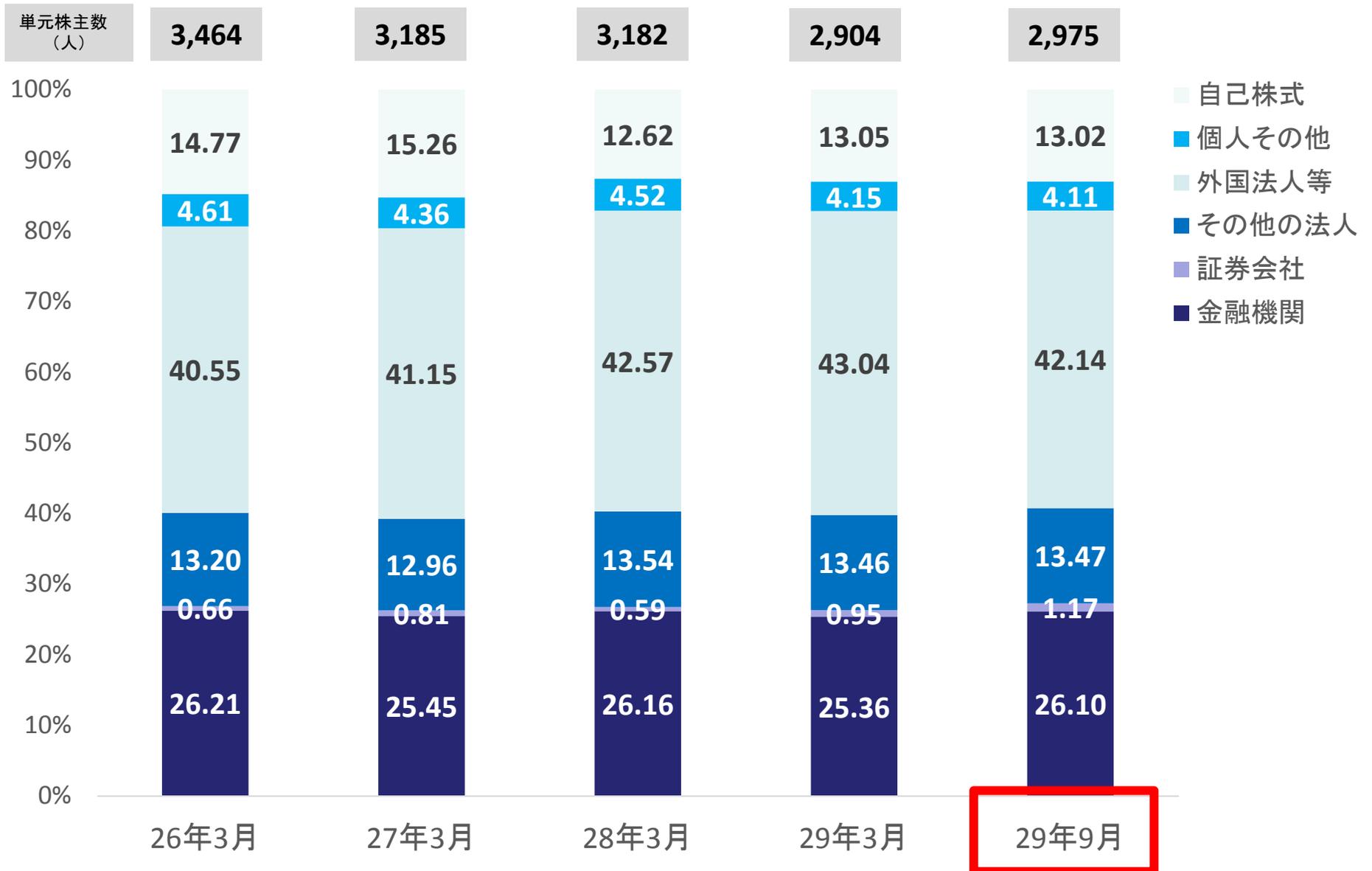


(※除く土地・建物・ソフトウェア投資)

従業員数 推移 (有報ベース)

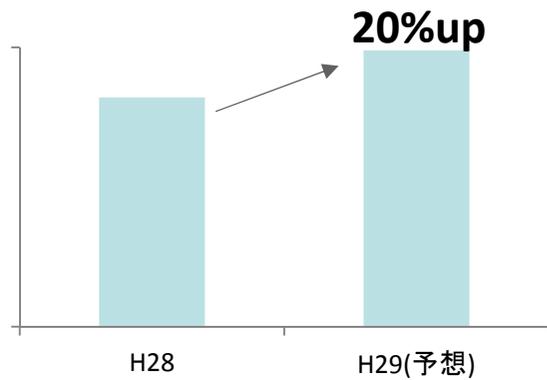


株式分布推移



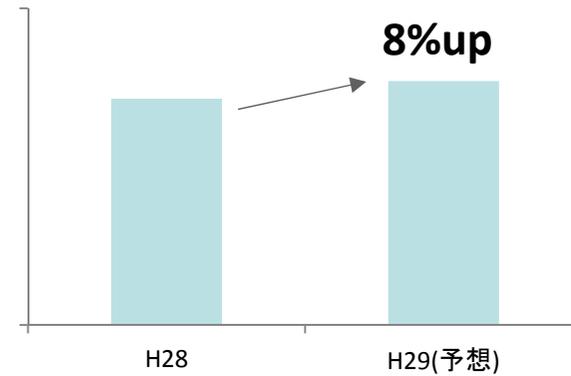
景気回復等による全般的な需要増を見込む

一般産機



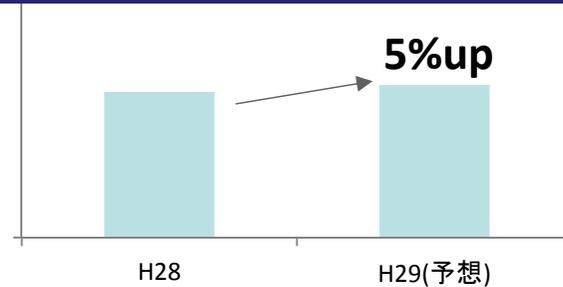
- ・全体的に需要底堅い
- ・H29年度は、過去最高の見込み

スマートフォン・携帯電話



中国向け等のスマホ高機能化による需要増

自動車



・堅調に推移

H30年3月期 業績予想(連結)

H29/4公表値を上方修正致します。⇒ 売上高 過去最高へ

(金額単位: 億円)

	H28年度(H29/3月期) 実績		H29年度(H30/3月期) 予想			第2四半期累計 対前年実績		通期 対前年実績	
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期 (H29/4 公表値)	通期 (今回)	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	571.8	1,151.0	619.8	1,200	1,260.0	48.0	8.4%	109.0	9.5%
売上原価率	53.4%	53.1%	52.5%		53.8%				
営業利益	142.9	284.8	151.4	283	292.0	8.5	6.0%	7.2	2.5%
(%)	25.0%	24.7%	24.4%		23.2%				
経常利益	143.6	298.0	157.7	293	303.0	14.1	9.8%	5.0	1.7%
(%)	25.1%	25.9%	25.4%		24.0%				
当期利益	101.3	213.6	109.2	205	214.0	7.9	7.8%	0.4	0.2%
(%)	17.7%	18.6%	17.6%		17.0%				
一株当り当期利益	—	611.81円	—		614.73円				
一株あたり配当	120円	240円	240円		480円	為替レート	H28年度実績	H29年度予想	(H29/4時点)
						1US\$	108.38円	110.53円	(110.00円)
						1€	118.79円	125.64円	(120.00円)
連結配当性向	—	39.2%	—		78.1%	100ウォン	9.45円	9.82円	(9.80円)

※H29年度一株当り配当には創業80周年記念配当(年間240円 / 株)を含みます。



英 知をつなぎ、高付加価値製品を通じて、
豊かな社会の実現に貢献する企業グループへ。

コーポレートサイト: <https://www.hirose.com/jp/>

IR情報 : <https://www.hirose.com/jp/ir/>

“2017”中期成長戦略の進捗について

2017, Nov 2nd

ヒロセ電機株式会社

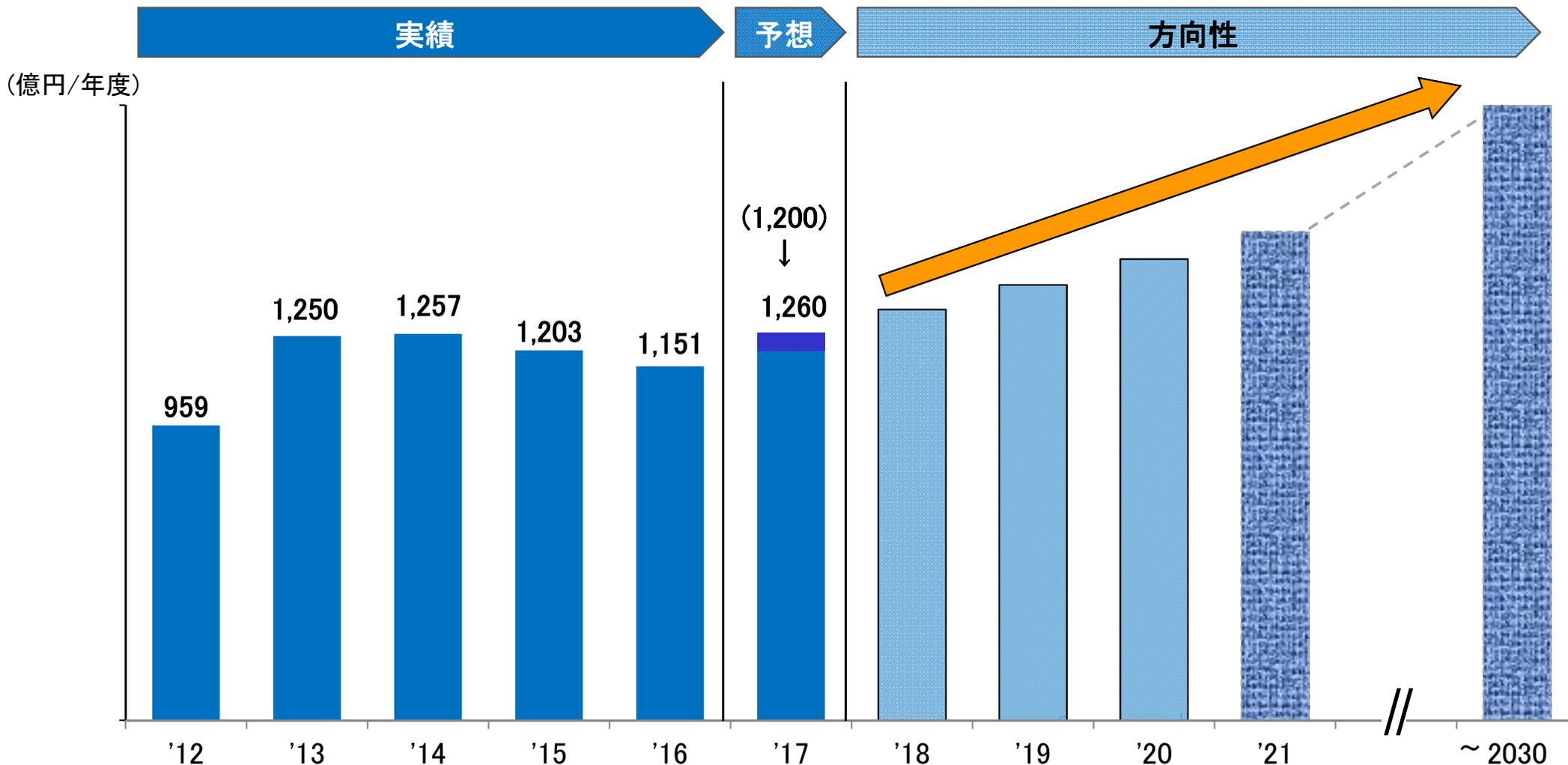
社長 石井 和徳

注意事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。

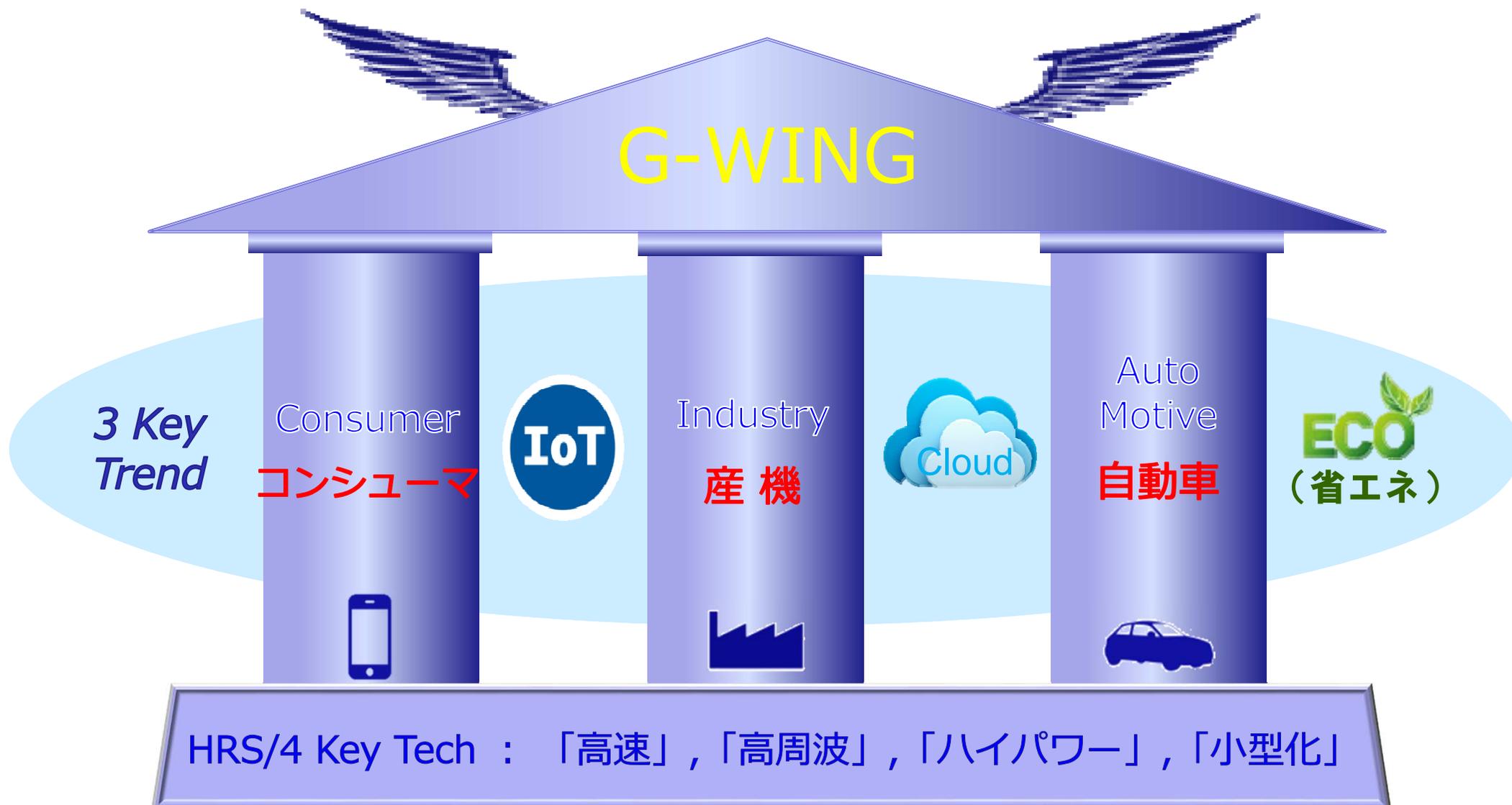
高収益経営を維持し中長期的に売上成長



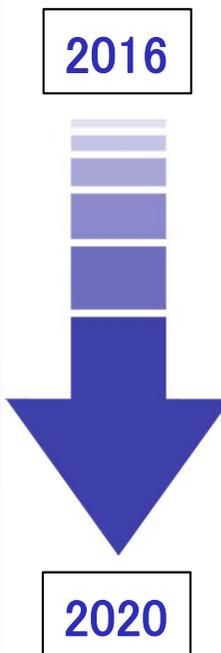
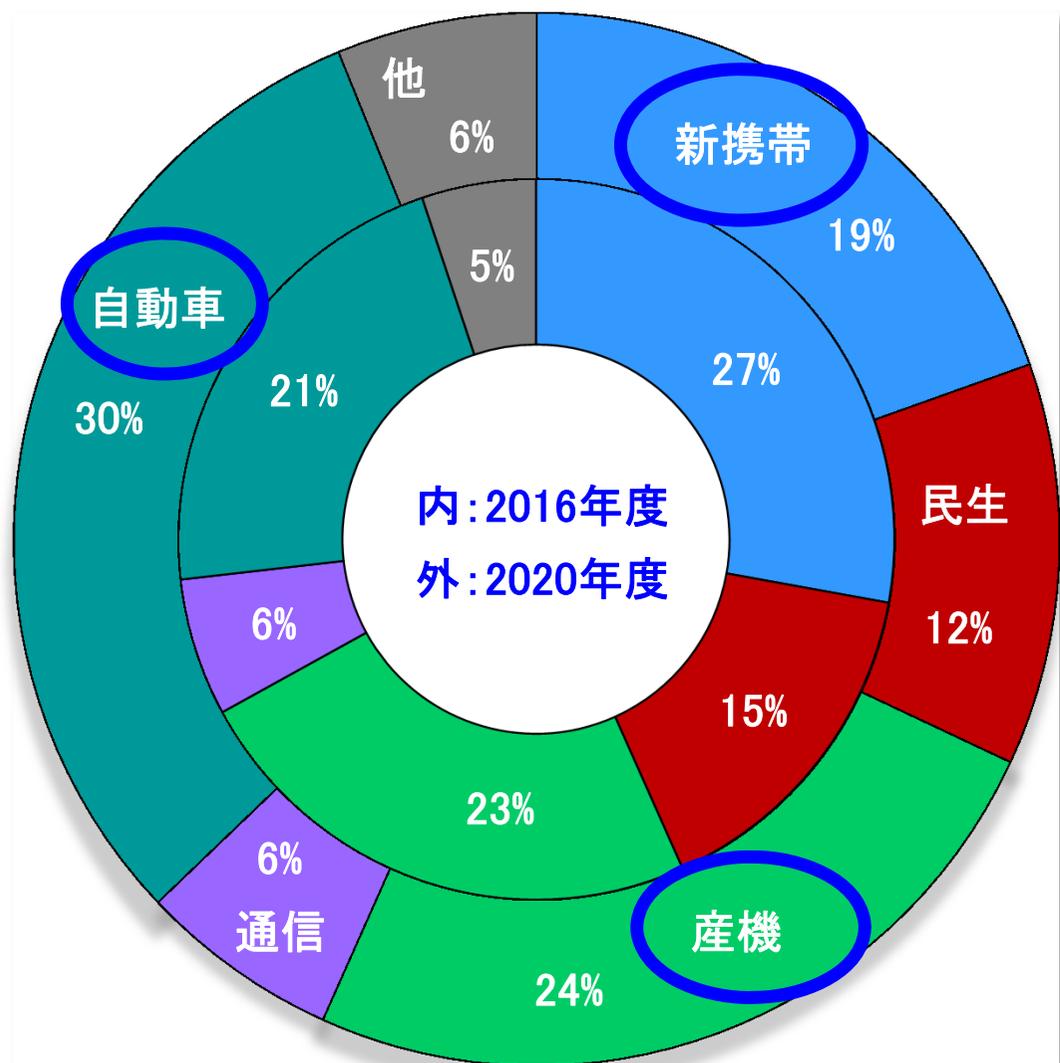
2016年度マイナス成長をボトムに価値ある継続成長へ

〈プラス〉 >>> 中期から更に中長期スパンでの計画構築を目指す！

中期計画 Rev-Ⅱ



力強い3本柱を形成し、中計G-WINGを達成する



➤ スマートフォンの確実な成長と新携帯情報端末の拡充

➤ <1>「新携帯・コンシューマ」
 <2>「産機」
 <3>「自動車」
 ⇒3本柱での成長計画

---➔ 中期マネジメントの加速で継続成長

〈〈〈創業80周年：2017（H29）年〉〉〉

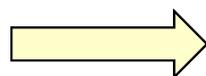
➤ 『G-WING』達成へパワーUPを図る

- 〈1〉モノづくり力の探究
- 〈2〉技術開発力の強化
- 〈3〉Global対応力の加速

➤ 『80⇒100周年』に向けて、「HRSの来たる飛躍」を実行・加速させる1年とする



製造機能強化



魅力的なモノづくり力

5つの強化ポイント

① 中長期戦略

③ 生産技術力強化

④ 購買機能強化

② 人材育成

⑤ 現場改善、品質・コストの追求

モノづくりで勝負する時代。 ➡ 力がなければ淘汰される。

TOPIX:【一関〈新〉試験センター】

【東北ヒロセ(宮古工場):精密金型棟】

試験センター 完成イメージ



10月中旬現在

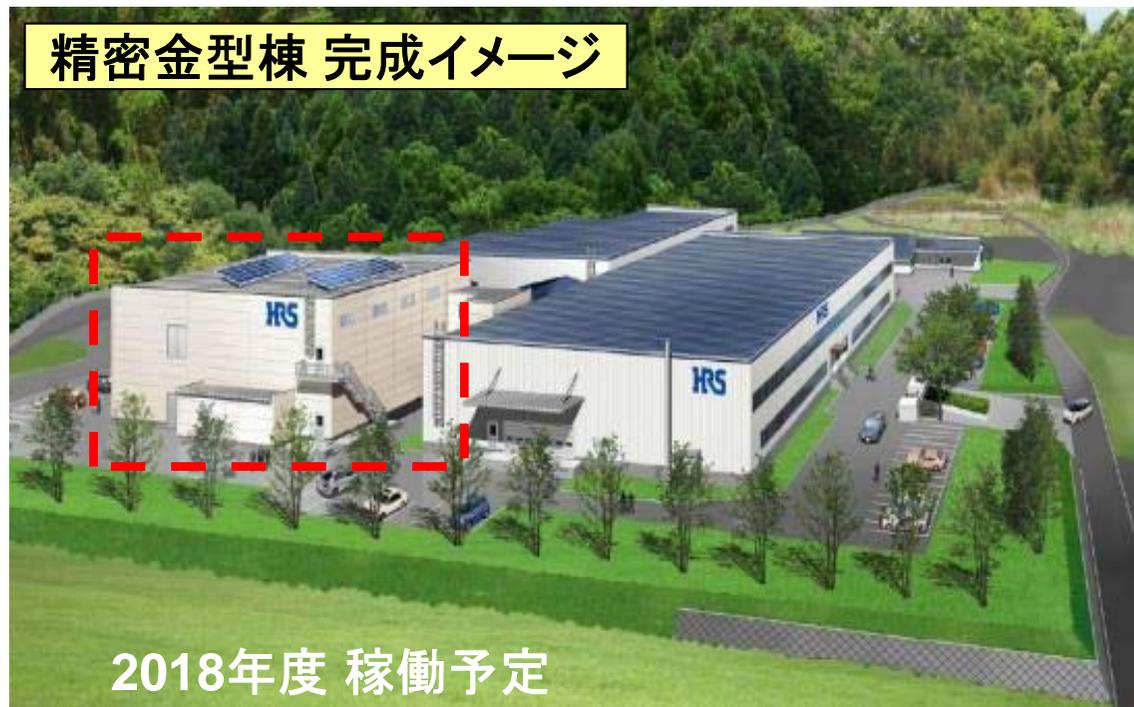


予定通り'17年度内に稼働

現行の試験キャパを倍増

自動車向け製品中心に試験設備拡充
試験エリア面積は将来拡張も可能

精密金型棟 完成イメージ



2018年度 稼働予定

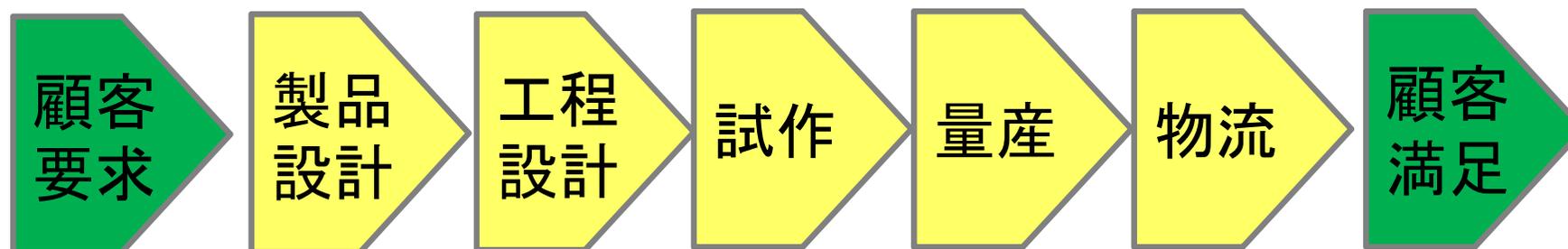
金型精度「ミクロン」から「ナノ」へ
—精密加工・精密測定—

精密加工・測定を実現し
金型リードタイム短縮
金型製作キャパ拡大

品質保証機能強化 [品質保証部]⇒[品質保証本部]

品質に対する基本方針

- 〔1〕品質第一主義を貫き、お客様満足度の向上に努める。
- 〔2〕市場要求を先取りした品質の新製品開発を実行する。
- 〔3〕たゆまぬ品質改善で業界のリーダーシップを目指す。



品質保証はお客様から要求される品質が維持できるものづくり全体の品質システム設計

つながること、想いはカタチになる。

ヒロセ電機は2017年に80周年の節目を迎えました。
より豊かな社会を実現するため、様々な人の想いに共鳴し、
人とひと、知識と知恵をつなぐことで、
これからも世の中に新しい価値のカタチを提供してまいります。
100周年に向けてスタートしたヒロセ電機は、
皆さまと共に歩み続けます。

